

衆議院国家安全保障に関する特別委員会ニュース

平成 25.11.1 第 185 回国会第 5 号

11 月 1 日（金）、第 5 回の委員会が開かれました。

1 安全保障会議設置法等の一部を改正する法律案（第 183 回国会、内閣提出第 75 号）

- ・岸田外務大臣、小野寺防衛大臣、菅内閣官房長官、岡田内閣府副大臣、小松内閣法制局長官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

近 藤 昭 一 君（民主）

- ・現行の安全保障会議のどのような問題点があるのか、また、新たな国家安全保障会議の設置により改善されるのか、内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・4 大臣会合の場合、少数の者しか参加しないため判断に偏りが生じるのではないかと。
- ・国家安全保障会議の審議内容を立法府が検証できるシステムが必要であり、そのためには議事録を作成すべきだと考えるが、内閣官房長官の見解を伺いたい。

後 藤 祐 一 君（民主）

- ・現行の安全保障会議において、議事録は作成していないとのことだが、行政文書には当たらない個人のメモレベルの記録も存在しないのか、内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・公開するかどうかは別にして、後に検証するという観点から会議の議事録を作成することは非常に重要なことであると考えるが、内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・第 2 条第 1 項第 8 号の「その他内閣総理大臣が必要と認める国防に関する重要事項」を「国防に関する重要事項」に改めることに実質的に変化がないのであれば改正する必要はないのではないかと。

山 田 宏 君（維新）

- ・国家安全保障会議設置後の情報収集・分析体制について伺いたい。
- ・特定秘密の指定に関する政府の恣意的な運用を防止する担保として、裁判所等の第三者機関によるチェック体制が必要と考えるが、政府の方針について伺いたい。
- ・国家安全保障会議による年次報告書の作成について政府は検討すべきではないかと。
- ・集団的自衛権は自然権ではなく、人為的権利という法解釈に関する内閣法制局長官の見解を伺いたい。

林 宙 紀 君（みんな）

- ・関係行政機関等が故意又は悪意によって国家安全保障会議が要求した資料等を適切に提供しなかったことにより我が国の国益が害された場合、どのような対応をとることを考えているのか、内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・60 人程度と予定されている国家安全保障局のスタッフのうち、報道によるとおよそ 3 分の 1 にあたる 20 人程度を自衛官で構成するとされているが、軍事・非軍事のバランスでは、発足当初は軍事分野に比重を置いた政策立案をしていくという認識で正しいか、内閣官房長官の見解を伺いたい。
- ・国家安全保障局内には 6 班を設置し、班長ポストには各省の出身者が固定的に配属されると報じられているが、同局内の人事にあたっては、ポストを固定化することなく、能力に見合った適材適所の対応をしていくべきとの考え方に対する内閣官房長官の見解を伺いたい。

赤 嶺 政 賢 君（共産）

- ・農林水産業、食の安全及び医療等、国民生活に重大な影響を与える T P P 問題が 4 大臣会合の審議のテーマに挙がる理由について内閣官房長官に伺いたい。
- ・谷内内閣官房参与は T P P 参加の意義について、我が国の安全保障体制の強化に資すると述べているが、これに対する内閣官房長官の認識を伺いたい。
- ・本年 4 月に合意した「日台民間漁業取決め」は、尖閣問題で中台間にくさびを打つために、地元の意向を無視し、台湾側に譲歩することによって合意に至ったと考えるが、内閣官房長官の見解を伺いたい。

玉 城 デニ一 君（生活）

- ・本法律案によって国家安全保障会議の創設に従い新たに 4 大臣会合が設置されるが、現在、総理の必要に応じて開催される 4 大臣が集まる会合があるのか、内閣官房長官に伺いたい。

- ・情報分析が重要な任務の一つである国家安全保障会議では、情報入手先である同盟関係国や東アジアの近隣諸国との緊密な連携が必要と考えるが、その構築方法について外務大臣及び防衛大臣の見解を伺いたい。
- ・現在策定を予定している国家安全保障戦略について、将来的に見直しの必要性が出てきた場合、新たに創設される国家安全保障会議の4大臣会合、9大臣会合及び緊急事態大臣会合のうち、どの会合で議論することになるのか、内閣官房長官に見解を伺いたい。